

# 日本産ヌメリガサ科菌類

本郷次雄

## Hygrophoraceae of Japan

Tsuguo HONGO

### ABSTRACT

A key to seventy-two species of Hygrophoraceae (Agaricales) from Japan is presented. Brief notes of four species are given, and fifteen new combinations are proposed.

筆者は今関・本郷：続原色日本菌類図鑑 (1965) において、当時までに知られていた日本産アカヤマタケ科 (ヌメリガサ科) Hygrophoraceae の菌類を、アカヤマタケ属 (ヌメリガサ属) *Hygrophorus* 1 属にまとめて検索表を示したが、この検索表には多少人為的な点が見られ、また小笠原諸島産の種類は省略されていた。その後数種の日本産種の追加があり、また学名を訂正すべきものも多少あることが判明したので、ここに改めて小笠原産も含め日本産既知種の検索表を作り直してみることにした。科内の属の分け方は Singer (1975) に従った。なおここでは和名として、Hygrophoraceae, *Hygrophorus* に対してそれぞれヌメリガサ科、ヌメリガサ属を用いることにした。検索表の作成にあたっては、青木実氏の日本きのこ分類研究 no.35 (1971) ならびに no. 51 (1974) を参考にした。

〔属の検索表〕

- 1 胞子にはいぼまたはとげがあり星形。クラ  
ンプはない.....*Hygraster*
- 1' 胞子にはいぼがなく平滑..... 2

- 2 胞子はアミロイド (糊性) .....  
..... *Neohygrophorus*
  - 2' 胞子は非アミロイド..... 3
  - 3 菌糸には通常クランプがある..... 4
  - 3' 菌糸にはクランプがない。傘および茎の表  
面はゼラチン化することはない。ひだは垂生  
しない。ひだ実質は並列型.....*Humidicutis*
  - 4 ひだ実質は散開型。外生菌根性.....  
..... 1 *Hygrophorus* ヌメリガサ属
  - 4' ひだ実質は錯綜型、並列型など..... 5
  - 5 上表皮層は細胞状ないし子実層状.....  
.....*Hygrotrama*
  - 5' 上表皮層は平行菌糸よりなるか、または粘  
質..... 6
  - 6 ひだ実質は錯綜型.....  
..... 2 *Camarophyllus* オトメノカサ属
  - 6' ひだ実質は並列型.....  
..... 3 *Hygrocybe* アカヤマタケ属
- 上記の 7 属のうち、日本産種が知られているのは *Hygrophorus*, *Camarophyllus*, *Hygrocybe* の 3 属だけであるが、今後は他属の種類も発見されることであろう。

1. *Hygrophorus* Fr. ヌメリガサ属

ひだは通常茎に垂生。ひだ実質は散開型。茎にはしばしばつばがある。外生菌根性で、日本では中部以北に多く、また西南部でも山岳地帯に多い。

## 〔節の検索表〕

- 1 傘は白色、または中央部のみクリーム色～淡黄土色..... Sect. 1 *Hygrophorus* シロヌメリガサ節
- 1' 傘は明らかに有色..... 2
- 2 傘は黄、橙、紅、ブドウ酒色、赤褐、黄褐（ときにオリーブ）などの色をおびる。ひだはほとんど白色、またはしばしば前記の色をおびる..... 3
- 2' 傘は灰、灰褐、オリーブ褐、灰黒など... .. Sect. 4 *Colorati* コケイロヌメリガサ節
- 3 茎にゼラチン質の被膜はなく、粘性を欠く..... Sect. 2 *Pudorini* フキサクラシメジ節
- 3' 茎は粘性、しばしばゼラチン質の被膜がある..... Sect. 3 *Discoidei* チャヌメリガサ節〔シロヌメリガサ節の検索表〕
- 1 全体が白色であるが、少なくとも傘の縁部と茎の上部は黄色の粒点におおわれる..... (Subsect. *Chrysodontini* ウコンガサ亜節) (1) *H. chrysodon* (Fr.) Fr. ウコンガサ
- 1' 黄色の粒点はない。茎は粘性の被膜におおわれる.....
- ... 2 (Subsect. *Eburnei* シロヌメリガサ亜節)
- 2 傘は純白。ほとんど無臭..... .. (2) *H. eburneus* (Fr.) Fr. シロヌメリガサ
- 2' 傘は淡黄土色をおびる。強いにおいがある.. (3) *H. cossus* (Fr.) Fr. クサヌメリガサ〔フキサクラシメジ節の検索表〕
- 1 傘はブドウ酒色、紫赤色、暗赤褐色など。ひだには同色のしみができるか、あるいは全体が赤く染まる.....
- 2 (Subsect. *Erubescens* サクラシメジ亜節)
- 1' 傘は橙色、黄色、帯オリーブ色、赤褐色など。ひだには赤いしみはできない..... 5 (Subsect. *Fulvoincarnati* フキサクラシメジ亜節)
- 2 繊維質の被膜があり、のち茎に早落性のつばをつくる。針葉樹林に発生.....

(4) *H. purpurascens* (Fr.) Fr. サクラシメジモドキ

- 2' 被膜はない..... 3
- 3 成菌は全体が一様に暗赤褐色。ふつつ針葉樹林に発生.....
- (5) *H. capreolarius* (Kalchbr.) Sacc. ヒメサクラシメジ
- 3' 傘は中央部が淡紅色、紫赤色、暗赤色など、縁部は淡色。ひだに赤いしみができる..... 4
- 4 ひだはやや疎 (75～95)。子実体は傷つくと黄色のしみができる。針葉樹林に発生..... (6) *H. erubescens* (Fr.) Fr. オオサクラシメジ
- 4' ひだは密 (120～130)。子実体に黄色のしみはできない。広葉樹林に発生.....
- ... (7) *H. russula* (Fr.) Quél. サクラシメジ
- 5 大形で傘の径 5～20cm..... 6
- 5' 小～中形で傘の径 4～8 cm..... 7
- 6 傘ははだ色～サケ肉色。針葉樹林に発生..... (8) *H. pudorinus* (Fr.) Fr. フキサクラシメジ
- 6' 傘は中央部は肉紅色、縁部はほとんど白色。ブナ林に発生..... (9) *H. fagi* Becker & Bon アケボノサクラシメジ (注 1)
- 7 傘は茶褐色。茎はほとんど白色、上下同大..... (10) *H. arbustivus* Fr. コクリノカサ
- 7' 傘は淡橙黄色～淡橙褐色 (中央部濃色)。ふつつ下部は細くなる.....
- (11) *H. leucophaeus* (Fr.) Fr. ブナヌメリガサ〔チャヌメリガサ節の検索表〕
- 1 傘は黄土褐色～クリ褐色、縁部は淡色。茎はほとんど白色.....
- (12) *H. discoideus* (Fr.) Fr. チャヌメリガサ
- 1' 傘は黄、橙、赤、または暗オリーブ褐色... .. 2
- 2 傘は黄色.....
- ..... (13) *H. lucorum* Kalchbr. キヌメリガサ
- 2' 傘ははじめ暗オリーブ褐色、のち黄、橙、赤色などをおびる..... 3
- 3 傘は径 3～5 cm..... (14) *H. hypothejus* (Fr.) Fr. シモフリヌメリガサ
- 3' 傘は径 1～3 cm.....

(14a) *H. hypothejs* f. *pinetorum* (Hongo) Hongo  
フユヤマタケ

[コケイロヌメリガサ節の検索表]

- 1 茎は粘性の被膜におおわれる...2 (Subsect. *Olivaceoumbrini* コケイロヌメリガサ亜節)
- 1' 茎は粘性を欠く.....3 (Subsect. *Tephroleuci* ウスチャヌメリガサ亜節)
  - 2 傘は帯オリーブ褐黒色。茎も同色のりん片におおわれるが、頂部は白色、粉状..... (15) *H. dichrous* Kühn. & Romagn. コケイロヌメリガサ (注2)
  - 2' 傘は中央部灰褐色、周縁部はほとんど白色。茎はほぼ白色..... (16) *H. mesotephurus* Berk. & Br. ヒメヌメリガサ
- 3 強いクヘントウのにおいがある。傘は灰色..... (17) *H. agathosmus* ( Secr.) Fr. ウスチャヌメリガサ
- 3' においはないか、または弱い。暗灰褐色ないしほとんど黒色..... 4
  - 4 傘は永く粘性を保つ。ひだは淡紅色..... (18) *H. calophyllus* Karst. ウスアカヒダタケ
  - 4' 傘はかわきやすい。ひだは白色~淡灰色..... (19) *H. camarophyllus* (Fr.) Dumée, Grandjean & Maire ヤギタケ

2. *Camarophyllus* Kummer オトメノカサ属  
ひだは通常茎に垂生。ひだ実質は錯綜型。  
茎につばをつくることはない。非菌根性で、  
世界に広く分布する。

[検索表]

- 1 傘は白色~類白色、淡クリーム色など..... 2 (Sect. 1 *Virginei* オトメノカサ節)
- 1' 傘は有色..... 5
  - 2 ひだはわずかに垂生し、淡肉色。傘は径約1 cm、粘性を欠く..... (1) *C. microbicolor* (S. Ito & Imai) S. Ito フタイロコガサタケ
  - 2' ひだは深く垂生し、白色~類白色..... 3
- 3 傘は粘性またはやや粘性..... 4
- 3' 傘は粘性を欠き、径2~6 cm。地上に発生

.....

- (4) *C. virgineus* (Fr.) Kummer オトメノカサ
  - 4 傘は径1.5~3 cm。地上に発生.....
  - (2) *C. niveus* (Fr.) Karst. コオトメノカサ
    - 4' 傘は径0.5~1.5 cm。針葉腐木上に発生.....
    - (3) *C. subniveus* (Imai) S. Ito ヒメオトメノカサ
- 5 傘はくすんだ黄橙色、粘性を欠く.....
  - ...(Sect. 2 *Camarophyllus* ハダイロガサ節)
  - (5) *C. pratensis* (Fr.) Kummer ハダイロガサ
    - 5' 傘は灰~灰褐色で多少紫色をおびる.....
    - 6 (Sect. 3 *Adonidi* ウバノカサ節)
      - 6 傘はやや粘性。茎の下部は白色。胞子は6~8.5×4.5~6  $\mu\text{m}$ .....
      - (6) *C. subviolaceus* (Peck) Sing. ウバノカサ
        - 6' 傘は粘性を欠く..... 7
  - 7 茎の下部は黄色をおびる。胞子は6.5~7.5×4.5~5.5  $\mu\text{m}$ ..... (7) *C. lacmus* (Fr.) J. Lange ハイムラサキガサ
    - 7' 茎の下部は黄色をおびない。胞子は球形。径3.5~4.5  $\mu\text{m}$ .....
    - (8) *C. lilacinogriseus* (Hongo) Hongo ウバノカサモドキ

3. *Hygrocybe* Kummer アカヤマタケ属  
子実体は多くはろう細工様で、色彩に富む。  
ひだ実質は並列型。おそらく非菌根性、世界に  
広く分布。

[節の検索表]

- 1 傘は鈍色(灰、灰褐、黒褐など)。傘、茎は粘性を欠く.....
- ..... Sect. 1 *Tristes* オオヒメノカサ節
- 1' 傘は多くは鮮色(黄、橙、赤、淡紅、緑、オリーブ、白など)。灰色の場合には傘、茎ともに粘性..... 2
  - 2 傘、茎ともに粘性.....
  - ...Sect. 4 *Subglutinosae* ナナイロヌメリタケ節
  - 2' 茎はほとんど粘性を欠く。傘は粘性または乾性..... 3
- 3 傘は粘性。茎は粘性を欠く.....
- ..... Sect. 2 *Hygrocybe* アカヤマタケ節

- 3' 傘、茎ともに粘性を欠く..... 4  
 4 傘は幼時は円錐形.....  
 ..... [Sect. 2 *Hygrocybe* アカヤマタケ節]  
 4' 傘はまんじゅう形、丸い中丘のあるまんじゅう形、または凹形.....  
 ..... Sect. 3 *Coccineae* ベニヤマタケ節  
 [オオヒメノカサ節の検索表]  
 1 肉は傷つくと赤変する..... 2  
 1' 肉は赤変しない。傘は径約 6 cm。胞子は 8~10×6~7.5 μm..... (3) *Hygrophorus fuscovillosulus* Imai チャオトメノカサ  
 2 傘は径 4~7 cm。胞子は 8~11×5~7 μm.....  
 ... (1) *H. ovina* (Fr.) Kuhn. オオヒメノカサ  
 2' 傘は径 5~10 cm。胞子は 5~6.25×4~5 μm.....  
 .... (2) *Hygrophorus carnescens* Imai ヒメノカサ  
 [アカヤマタケ節の検索表]  
 1 傘は少なくとも幼時は円錐形.....  
 Subject. *Conicae* アカヤマタケ亜節→検索表 A  
 1' 傘は鈍形または凹形.....  
 Subject. *Obtusae* アキヤマタケ亜節→検索表 B  
 [A]  
 1 傘は赤、橙、黄など..... 2  
 1' 傘は上記以外の色をおびる..... 8  
 2 子実体は黒変する.....  
 ..... (4) *H. conica* (Fr.) Kummer  
 アカヤマタケ (注 3)  
 2' 子実体は黒変しない..... 3  
 3 傘は赤色..... 4  
 3' 傘は橙~黄色..... 5  
 4 傘の表面は平滑。胞子は 9~12×4.5~7 μm.....  
 (5) *H. cuspidata* (Peck) Murr. トガリベニヤマタケ  
 4' 傘の表面には繊維状小りん片がある。胞子は 16~20×7.5~10 μm.....  
 ..... (6) *H. macrospora* (S. Ito & Imai) S. Ito オオミノアカヤマタケ  
 5 傘は粘性..... 6  
 5' 傘は粘性を欠く。担子器は 4 孢子..... 7  
 6 担子器は 2 孢子。胞子は 11~13.5 (14) ×7~9.5 (10.5) μm.....

- ..... (7) *H. acutoconica* (Clem.) Sing. f. *japonica* (Hongo) Hongo トガリツキミタケ  
 6' 担子器は 4 孢子。胞子は 7~10×5~7 μm..... (8) *H. subacuta* (Hongo) Hongo トガリダイダイタケ  
 7 傘は径 3~8 cm..... (9) *H. obrussea* (Fr.) Wünsche オオキヤマタケ  
 7' 傘は径 1.5 cm.....  
 (9a) *H. obrussea* f. *pusilla* (Imai) S. Ito ヒメキヤマタケ  
 8 傘は径 3~10 cm..... 9  
 8' 傘は径 1.2~3 cm..... 10  
 9 傘はウグイス色~暗ウグイス色 (帯オリープ色) .....  
 (10) *Hygrophorus chrysoconos* Imai キオトメノカサ  
 9' 傘はバラ色~ライラック色..... (11) *H. calyptraeformis* (Berk. & Br.) Fayod アケボノタケ  
 10 傘はオリープ緑色..... (12) *H. olivaceoviridis* (Hongo) Hongo トガリワカクサタケ  
 10' 傘は帯ピンク・ブドウ酒色.....  
 ..... (12a) *H. olivaceoviridis* f. *hirasanensis* (Hongo) Hongo カワリワカクサタケ  
 [B]  
 1 傘は白色.....  
 (13) *H. pantoleuca* (Hongo) Hongo シロヒガサ  
 1' 傘は赤、橙、黄など..... 2  
 2 傘は赤色..... 3  
 2' 傘は黄~橙黄色..... (16) *H. flavescens* (Kauffm.) Sing. アキヤマタケ  
 3 茎には縦の繊維紋がある.....  
 ..... (14) *H. punicea* (Fr.) Karst. ヒロイガサ  
 3' 茎に繊維紋はない.....  
 (15) *H. marchii* (Bres.) Möller ミイノベニヤマタケ  
 [ベニヤマタケ節の検索表]  
 1 傘はりん片がなく平滑.....  
 Subject. *Coccineae* ベニヤマタケ亜節→検索表 C  
 1' 傘には微細なりん片がある..... Subject. *Squamulosae* ザラツキヤマタケ亜節→検索

表 D

## [C]

- 1 胞子は球形～類球形、小形、(3.5) 4～6 (7) × (3.5) 4～5  $\mu\text{m}$ 。傘は橙色……………  
……(17) *H. aurantia* Murr. ヒメダイダイタケ
- 1' 胞子は卵形、楕円形、円柱形などで、ときにくびれていることがある。類球形の場合には上記より大形…………… 2
- 2 ミズゴケ上に発生。傘は黄～橙黄色……………  
……(18) *H. stagnina* (Hongo) Hongo  
ヌマキヤマタケ
- 2' ミズゴケ上に発生しない…………… 3
- 3 ひだはほとんど離生。傘は黄色…………… [(9)  
*H. obrussea* (Fr.) Wünsche オオキヤマタケ]
- 3' ひだは直生状垂生～垂生、ときに多少上生…………… 4
- 4 傘は黄、橙黄など…………… 5
- 4' 傘は赤、橙赤、くすんだ朱、暗赤褐など…………… 6
- 5 傘は径約 1 cm。胞子は10～12.5 × 8～10  $\mu\text{m}$ ……………(19)  
*H. subvitellina* (Imai) S. Ito コキヤマタケ
- 5' 傘は径 1～2.5 cm。胞子は 9～13 × 6～8.5  $\mu\text{m}$ ……………(20) *H. croceolutea* (Hongo) Hongo オレンジガサ
- 6 傘は赤～橙赤 (鮮色)…………… 7
- 6' 傘は上記以外の色をおびる。胞子は 7～10.5 × 5～7  $\mu\text{m}$ ……………10
- 7 胞子の幅は3.5  $\mu\text{m}$ 以上…………… 8
- 7' 胞子の幅は3.5  $\mu\text{m}$ 以下……………  
……(24) *H. cruenta* (Hongo) Hongo  
チシオヒメノカサ
- 8 胞子は11～15 × 7.5～8.5  $\mu\text{m}$ 。傘は橙赤色……………(21) *H. suzukaensis* (Hongo) Hongo  
シュイロガサ
- 8' 胞子は 7～10.5 × 3.5～5  $\mu\text{m}$ …………… 9
- 9 傘は径 1.5～3 cm、赤～橙赤。ひだはほぼ三角形……………(22)  
*H. imazekii* (Hongo) Hongo コベニヤマタケ
- 9' 傘は径 2～6 cm、血赤色。ひだは直生状垂生、またはやや上生し、三角形をなさない…………… (23) *H. coccinea* (Fr.) Kummer  
ベニヤマタケ
- 10 傘はブドウ酒色をおびた暗赤褐色。ひだ

と茎は黄色……………(25) *H. otsuensis*

(Hongo) Hongo フタイロヒメノカサ

10' 傘はくすんだ朱色。ひだは淡バラ色。茎は朱色……………(26)

*H. subcinnabarina* (Hongo) Hongo ヤマヒガサタケ

## [D]

- 1 傘はブドウ酒色をおびた暗赤褐色。ひだと茎は黄色…………… [(25) *H. otsuensis* (Hongo) Hongo フタイロヒメノカサ]
- 1' 傘は少なくとも地色は赤、橙、黄など… 2
- 2 傘は赤～朱色…………… 3
- 2' 傘は黄～橙色…………… 8
- 3 傘のりん片は黒味をおびる。ひだは白～帯黄色、直生状垂生または垂生。胞子は10～14 × 6～8.5  $\mu\text{m}$ 。ミズゴケ上や草地に発生…………… (27) *H. coccineocrenata* (Orton) Moser ミズゴケノハナ(注4)
- 3' 傘のりん片は黒味をおびない…………… 4
- 4 担子器、胞子にそれぞれ大、小2型があり、大胞子は大担子器に、小胞子是小担子器につく……………(28) *H. firma* (Berk. & Br.) Sing. ネットイベニヒガサ
- 4' 担子器、胞子に2型はない…………… 5
- 5 胞子は11～19 × 7.5～10  $\mu\text{m}$ ……………(29) *H. pseudococcinea* (Hongo) Hongo オオミノアカヌマベニタケ
- 5' 胞子は 6～11.5 × 4～7  $\mu\text{m}$ …………… 6
- 6 傘は径 1 cm 以下(0.4～0.8 cm)……………  
……(30) *H. parvicoccinea* (S. Ito & Imai)  
S. Ito ムニンヒメベニタケ
- 6' 傘は径 1 cm 以上…………… 7
- 7 ひだは直生～上生、またはやや垂生、帯赤色……………(31)  
*H. miniata* (Fr.) Kummer アカヌマベニタケ
- 7' ひだは深く垂生、黄～橙黄色……………  
(32) *H. cantharellus* (Schw.) Murr. ベニヒガサ
- \* ミズゴケ上に発生…………… (32a) *H. cantharellus*  
f. *sphagnicola* (Hongo) Hongo ミズゴケベニヒガサ
- 8 傘の地色は鮮色。子実体は束生することはない…………… 9
- 8' 傘は汚黄土色の地に暗褐色のりん片を被

- むる。子実体は少数群生または束生。胞子は  $7 \sim 11 \times 4.5 \sim 7.5 \mu\text{m}$  ..... (35)  
*H. caespitosa* a Murr. ササクレヒメノカサ
- 9 ひだは直生状垂生、または垂生.....10  
 9' ひだは上生。傘は黄色の地に暗褐色、繊維状りん片を被むる。胞子は  $7 \sim 9.5 \times 4.5 \sim 6.5 \mu\text{m}$ .....  
 (34) *H. hahashimensis* (Hongo) Hongo クロゲキヤマタケ
- 10 傘のりん片は黒味をおびる。胞子は  $8 \sim 12 \times 5 \sim 6 \mu\text{m}$ 。イネ科やコケ類の間に発生..... (33) *H. turunda* (Fr.) Karst. ザラツキキヤマタケ
- 10' 傘のりん片は黒味をおびない。胞子は  $10 \sim 15 (16.5) \times 6 \sim 7.5 \mu\text{m}$ 。ミズゴケ上に発生..... (33a) *H. turunda* f. *macrospora*. (Hongo) Hongo キミズゴケノハナ
- [ナナイロヌメリタケ節の検索表]
- 1 傘は赤、黄、青、緑など..... 2 (Subsect. *Subglutinosae* ナナイロヌメリタケ亜節)
- 1' 傘は灰、褐、など.....  
 (Subsect. *Unguinosae* アクイロヌメリタケ亜節) (45) *H. unguinosa* (Fr.) Karst. アクイロヌメリタケ
- 2 傘は緑色、のち黄～橙色となる。茎の上部は緑色..... (36) *H. psittacina* (Fr.) Kummer ワカクサタケ
- 2' 傘は上記以外の色をおびる..... 3
- 3 傘は橙褐、黄、ピンク、オリーブ、灰紫などをまじえ、色の変化に富む。ひだには毛状の縁シスチジアが密生する..... (37) *H. laeta* (Fr.) Kummer ナナイロヌメリタケ
- 3' 傘は上記以外の色をおびる。縁シスチジアを欠く..... 4
- 4 傘は黄～橙黄色..... 5
- 4' 傘は赤～橙色、れんが色など..... 7
- 5 傘はへそ状～ろうと状にくぼむ。ひだは深く垂生..... (38) *H. nitida* (Berk. & Curt.) Murr. ヒメツキミタケ
- 5' 傘はまんじゅう形ないしほぼ平ら..... 6
- 6 ひだは直生～やや垂生。茎にやや粘性があるが、乾きやすい.....  
 (39) *H. ceracea* (Fr.) Kummer キヤマタケ

- 6' ひだは上生～湾生。茎は永く粘性を保つ  
 .. (40) *H. chlorophana* (Fr.) Karst. ツキミタケ
- 7 担子器、胞子にそれぞれ大、小2型があり、大胞子は大担子器に、小胞子是小担子器につく... (41) *H. hypohaemacta* (Corner) Pegler var. *boninensis* (Hongo) Hongo ネットタイアカヌメリガサ
- 7' 担子器、胞子に2型はない..... 8
- 8 味はきわめて苦い。茎に粘性があるが、乾きやすい..... (42) *H. reai* (Maire) J. Lange ニガヒガサタケ
- 8' 苦味はない。茎は永く粘性を保つ..... 9
- 9 傘は鮮黄赤色..... (43) *H. minutula* (Peck) Murr. ヌメリアカヌマベニタケ
- 9' 傘はくすんだ赤～橙赤色..... (44) *H. sciophana* (Fr.) Karst. f. *minor* (Hongo) Hongo ヒメアカヌメリタケ

(注1) アケボノサクラシメジは子実体の外形や色彩においては *Hygrophorus fagi* とよく一致するが、傘はこれより大形 (6～20cm) で、胞子はやや小さい ( $6.5 \sim 8 \times 4.5 \sim 5.5 \mu\text{m}$ )。 *H. poetarum* (= *Limacium pudorinum* sensu Ricken 1915, Lange 1940) は傘が大形になる点や胞子の大きさにおいてアケボノサクラシメジとよく似るが、傘・茎ともに黄土紅色を呈するという。ここでは暫定的に *H. fagi* なる学名を用いたが、いずれ再検討の必要があると考える。

(注2) *Limacium olivaceo-album* sensu Ricken (1915), Lange (1940) は、今日では *Hygrophorus dichrous* とされている。コケイロヌメリガサはこれに相当するもので、川村氏 (1915) のクロマツタケモドキ *Armillaria nigrescens* もおそらく同種であろう。

(注3) ヨーロッパでは *Hygrocybe nigrescens* と *H. conica* とが区別されているが、日本ではこの2種の区別は必ずしも明らかではないので、学名として一応 *H. conica* を用いることにした。しかし、日本にもアカヤマタケとは区別すべき1、2の近縁菌があることがわかっており、今後の検討を要する。

(注4) 以前筆者 (1957) は草地に生えるヒメアカヌマベニタケを *Hygrophorus turundus* f.

*minus* としたが、その後これはミズゴケノハナと形態的に何ら区別できないことがわかったので、*Hygrocybe coccineocrenata* の中に含めることにした。

## NEW COMBINATIONS PROPOSED

*Camarophyllus lilacinogriseus* (Hongo)  
Hongo comb. nov.

Basionym: *Hygrophorus lilacinogriseus*  
Hongo, Journ. Jap. Bot. 38: 233. 1963.

*Hygrocybe subacuta* (Hongo) Hongo  
comb. nov.

Basionym: *Hygrophorus subacutus* Hongo, Rept. Tottori Mycol. Inst. (Japan) 16: 59. 1978.

*Hygrocybe olivaceoviridis* (Hongo) Hongo  
comb. nov.

Basionym: *Hygrophorus olivaceoviridis*  
Hongo, Journ. Jap. Bot. 42: 151. 1967.

*Hygrocybe olivaceoviridis* (Hongo) Hongo  
f. *hirsanensis* (Hongo) Hongo comb. nov.

Basionym: *Hygrophorus olivaceoviridis*  
Hongo f. *hirsanensis* Hongo, Mem. Shiga Univ. 20: 49. 1970.

*Hygrocybe pantoleuca* (Hongo) Hongo  
comb. nov.

Basionym: *Hygrophorus pantoleucus* Hongo, Journ. Jap. Bot. 33: 135. 1958.

*Hygrocybe croceolutea* (Hongo) Hongo  
comb. nov.

Basionym: *Hygrophorus croceoluteus*  
Hongo, Mem. Shiga Univ. 20: 50. 1970.

*Hygrocybe suzukaensis* (Hongo) Hongo  
comb. nov.

Basionym: *Hygrophorus suzukaensis* Hongo, Mem. Shiga Univ. 12: 39. 1962.

*Hygrocybe cruenta* (Hongo) Hongo comb.  
nov.

Basionym: *Hygrophorus cruentus* Hongo, Journ. Jap. Bot. 33: 134. 1958.

*Hygrocybe otsuensis* (Hongo) Hongo  
comb. nov.

Basionym: *Hygrophorus otsuensis* Hongo, Trans. mycol. Soc. Japan 16: 379. 1975.

= *Hygrophorus dichrous* Hongo, Journ. Jap. Bot. 33: 101. 1958 (non Kühn. & Romagn., 1953).

*Hygrocybe subcinnabarina* (Hongo) Hongo  
comb. nov.

Basionym: *Hygrophorus subcinnabarinus*  
Hongo, Journ. Jap. Bot. 35: 83. 1960.

*Hygrocybe cantharellus* (Schw.) Murr. f.  
*sphagnicola* (Hongo) Hongo comb. nov.

Basionym: *Hygrophorus cantharellus*  
(Schw.) Fr. f. *sphagnicola* Hongo, Journ. Jap. Bot. 33: 99. 1958.

*Hygrocybe turunda* (Fr.) Karst. f. *macrospora*  
(Hongo) Hongo comb. nov.

Basionym: *Hygrophorus turundus* (Fr.) Fr. var. *macrosporus* Hongo, Journ. Jap. Bot. 31: 144. 1956.

= *Hygrocybe turunda* var. *macrospora* (Hongo) Hongo, Journ. Jap. Bot. 31: 144. 1956.

= *Hygrophorus turundus* f. *macrosporus*  
(Hongo) Hongo, Mem. Shiga Univ. 6: 31. 1957.

*Hygrocybe hahashimensis* (Hongo) Hongo  
comb. nov.

Basionym: *Hygrophorus hahashimensis*  
Hongo, Rept. Tottori Mycol. Inst. (Japan) 16: 60. 1978.

*Hygrocybe hypohaemacta* (Corner)  
Pegler var. *boninensis* (Hongo) Hongo  
comb. nov.

Basionym: *Hygrophorus hypohaemactus*  
Corner var. *boninensis* Hongo, Rept. Tottori Mycol. Inst. (Japan) 18: 149. 1980.

*Hygrocybe sciophana* (Fr.) Karst. f.  
*minor* (Hongo) Hongo comb. nov.

Basionym: *Hygrophorus sciophanus* (Fr.) Fr. f. *minor* Hongo, Journ. Jap. Bot. 33: 138. 1958.

## SYNOPSIS OF HYGROPHORACEAE OF JAPAN

Genus *Hygrophorus*Sect. *Hygrophorus*Subsect. *Chrysodontini**H. chrysodon*Subsect. *Eburnei**H. eburneus*; *H. cossus*Sect. *Pudorini*Subsect. *Erubescens**H. purpurascens*; *H. capreolarius*; *H. erubescens*; *H. russula*Subsect. *Fulvoincarinati**H. pudorinus*; *H. fagi*; *H. arbustivus*; *H. leucophaeus*Sect. *Discoidei**H. discoideus*; *H. lucorum*; *H. hypothejus*; *H. hypothejus* f. *pinetorum*Sect. *Colorati*Subsect. *Olivaceoumbrini**H. dichrous*; *H. mesotephrus*Subsect. *Tephroleuci**H. agathosmus*; *H. calophyllus*; *H. camarophyllus*Genus *Camarophyllus*Sect. *Virginei**C. microbicolor*; *C. niveus*; *C. subniveus*; *C. virgineus*Sect. *Camarophyllus**C. pratensis*Sect. *Adonidi**C. subviolaceus*; *C. lilacinogriseus*; *C. lacmus*Genus *Hygrocybe*Sect. *Tristes**H. ovina*; *Hygrophorus carnescens*; *Hygrophorus fuscovillosulus*Sect. *Hygrocybe*Subsect. *Conicae**H. conica*; *H. cuspidata*; *H. macrospora*; *H. acutoconica* f. *japonica*; *H. subacuta*; *H. obrussea*; *H. obrussea* f. *pusilla*; *H. calyptraeformis*; *H. olivaceoviridis*; *H. oli-**vaceoviridis* f. *hirasanensis*; *Hygrophorus chrysoconos*Subsect. *Obtusae**H. pantoleuca*; *H. punicea*; *H. marchii*; *H. flavescens*Sect. *Coccineae*Subsect. *Coccineae**H. aurantia*; *H. stagnina*; *H. subvitellina*; *H. croceolutea*; *H. suzukaensis*; *H. imazekii*; *H. coccinea*; *H. cruenta*; *H. otsuensis*; *H. subcinnabarina*Subsect. *Squamulosae**H. coccineocrenata*; *H. firma*; *H. pseudococcinea*; *H. parvicoccinea*; *H. miniata*; *H. cantharellus*; *H. cantharellus* f. *sphagnicola*; *H. turunda*; *H. turunda* f. *macrospora*; *H. hahashimensis*; *H. caespitosa*Sect. *Subglutinosae*Subsect. *Subglutinosae**H. psittacina*; *H. laeta*; *H. nitida*; *H. ceracea*; *H. chlorophana*; *H. hypohaemacta* var. *boninensis*; *H. reai*; *H. minutula*; *H. sciophana* f. *minor*Subsect. *Unguinosae**H. unguinosa*

## 文 献

青木実 (1971)。日本きのこ分類研究 No.35。日本きのこ同好会。

—— (1974)。同上 No.51。

今関六也・本郷次雄 (1965)。続原色日本菌類図鑑 保育社。

川村清一 (1954)。原色日本菌類図鑑 第4巻 風間書房。

Hongo, T. (1957). Notes on Japanese larger fungi (10)—Journ. Jap. Bot. **32**: 141-146.

Lange, J. (1940). Flora Agaricina Danica Vol. 5. Copenhagen.

Ricken, A. (1915). Die Blätterpilze. Leipzig.